



## 2024年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月12日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス  
コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 井本 雅之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志岐 雄一  
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 0898-23-2243

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	7,047	5.0	467	14.3	534	14.8	325	1.9
2023年2月期第3四半期	6,713	3.4	408	61.7	465	9.6	319	15.6

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 402百万円 (6.3%) 2023年2月期第3四半期 378百万円 (27.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	352.61	
2023年2月期第3四半期	345.94	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	5,285	2,690	48.1
2023年2月期	4,914	2,390	46.9

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 2,542百万円 2023年2月期 2,309百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期		0.00		110.00	110.00
2024年2月期					
2024年2月期(予想)				120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2024年1月12日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,220	0.3	620	1.4	715	0.3	310	4.8	335.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期3Q	953,600 株	2023年2月期	953,600 株
期末自己株式数	2024年2月期3Q	30,398 株	2023年2月期	30,326 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期3Q	923,238 株	2023年2月期3Q	923,348 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことに伴う外出機会の増加等を背景に、個人消費等を中心として景気は緩やかに持ち直しつつあります。一方で、長期化する原材料費やエネルギーコストの高騰、記録的な円安水準、これらによる国内での急激な物価上昇などが続いております。

また、世界経済では、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、主要各国での金利上昇など、国内景気に影響を与える不確定要素が多数存在しており、今後の国内景気の見通しはまだ先行き不透明となっています。

そのような環境の中、当社グループは、リユース事業では、新規出店を支える体制づくりと経年劣化した既存店の改修を行いました。また、フードサービス事業では、モスバーガー店舗の改装を4店舗行いました。

当第3四半期連結累計期間は、10月にリユース事業1店舗、地方創生事業1施設を出店しました。また11月にリユース事業2店舗を出店しました。

この結果、当社グループの店舗数はリユース事業100店舗、フードサービス事業29店舗、地方創生事業10施設、合計139店舗となりました。

なお、リユース事業の「ハードオフ・オフハウス熊本帯山店」は、2023年5月26日に発生した火災事故の影響で、105日間の休業となりました（2023年9月8日に営業を再開しております。）。当該事故に伴い焼失した資産については保険金を受領しており、経営成績に与える影響は軽微です。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,047,064千円（対前年同四半期比5.0%増）、営業利益467,045千円（同14.3%増）、経常利益534,749千円（同14.8%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用が前年同四半期比で104,351千円増加した影響で、325,546千円（同1.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりです。

#### (リユース事業)

ハードオフ事業・ブックオフ事業では、ハードオフ本部・ブックオフ本部の経営理念を現場で行動に移し、店舗運営のスタンダードを実現できる人材育成と継続的に新規出店を可能にする体制づくりに取り組みました。

この結果、売上高5,093,291千円（対前年同四半期比5.3%増）、セグメント利益（営業利益）792,987千円（同10.1%増）となりました。

#### (フードサービス事業)

モスバーガー事業では、店舗改装を行い新しいお客様のニーズに対応できるスペースづくりに取り組みました。新型コロナウイルス感染症の影響を特に受けたアルコール類を提供する店舗でも、客数の回復が見られました。

この結果、売上高1,732,047千円（対前年同四半期比3.6%増）、セグメント利益（営業利益）93,424千円（同5.1%減）となりました。

#### (地方創生事業)

新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなり、お客様にご利用頂き易い環境が整い始めましたが、世界的な資源高騰の影響を受け、エネルギーコストが増加しました。また、2024年、2025年の稼働を予定している複数の施設に対し先行投資を行いました。

この結果、売上高221,726千円（対前年同四半期比7.6%増）、セグメント損失（営業損失）122,376千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）110,659千円）となりましたが、経常損益では行政からの支援金13,227千円を含め、経常損失75,016千円（前年同四半期は経常損失84,984千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて79,741千円増加し、2,280,382千円となりました。商品が131,171千円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて290,485千円増加し、3,004,624千円となりました。有形固定資産が318,801千円増加したことが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて370,227千円増加し、5,285,007千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,344千円減少し、927,098千円となりました。1年内返済予定の長期借入金が13,939千円減少し、未払法人税等が71,569千円減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて72,176千円増加し、1,667,378千円となりました。長期借入金47,432千円増加したことが主な要因です。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて69,831千円増加し、2,594,477千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて300,395千円増加し、2,690,530千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月14日に公表しました「2023年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、本日公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、進捗中の第4四半期以降の状況に鑑み、公表中の通期業績予想数値の達成確度が高まったことから1株あたり期末配当予想を「120円」に修正させていただいております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	862,341	755,813
売掛金	128,605	142,158
商品	1,046,280	1,177,452
その他	164,874	206,602
貸倒引当金	△1,460	△1,643
流動資産合計	2,200,641	2,280,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	848,966	963,480
その他(純額)	573,877	778,165
有形固定資産合計	1,422,843	1,741,645
無形固定資産	38,135	35,448
投資その他の資産		
差入保証金	513,952	510,745
その他	759,722	733,965
貸倒引当金	△20,515	△17,179
投資その他の資産合計	1,253,159	1,227,530
固定資産合計	2,714,139	3,004,624
資産合計	4,914,780	5,285,007
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	68,676	91,799
1年内返済予定の長期借入金	275,594	261,655
未払法人税等	131,755	60,186
その他	453,416	513,458
流動負債合計	929,443	927,098
固定負債		
長期借入金	857,550	904,982
退職給付に係る負債	22,611	24,718
役員退職慰労引当金	117,116	125,535
関係会社事業損失引当金	5,827	5,827
資産除去債務	431,938	438,388
その他	160,158	167,926
固定負債合計	1,595,202	1,667,378
負債合計	2,524,645	2,594,477
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	1,726,142	1,950,128
自己株式	△70,275	△70,666
株主資本合計	2,266,881	2,490,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,460	24,499
為替換算調整勘定	13,966	27,715
その他の包括利益累計額合計	42,427	52,214
非支配株主持分	80,825	147,838
純資産合計	2,390,134	2,690,530
負債純資産合計	4,914,780	5,285,007

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	6,713,951	7,047,064
売上原価	2,364,941	2,447,792
売上総利益	4,349,010	4,599,272
販売費及び一般管理費	3,940,509	4,132,226
営業利益	408,500	467,045
営業外収益		
不動産賃貸料	36,690	39,480
受取負担金	13,558	13,227
受取協力金	11,402	-
補助金収入	9,304	30,865
その他	34,604	28,766
営業外収益合計	105,560	112,340
営業外費用		
不動産賃貸原価	37,843	36,960
その他	10,372	7,676
営業外費用合計	48,215	44,636
経常利益	465,846	534,749
特別利益		
収用補償金	-	23,861
特別利益合計	-	23,861
特別損失		
固定資産除却損	519	572
減損損失	66,074	-
店舗閉鎖損失	-	277
固定資産圧縮損	-	12,488
特別損失合計	66,593	13,338
税金等調整前四半期純利益	399,252	545,272
法人税、住民税及び事業税	73,990	109,961
法人税等調整額	△18,254	50,126
法人税等合計	55,735	160,087
四半期純利益	343,516	385,185
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,095	59,638
親会社株主に帰属する四半期純利益	319,421	325,546



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	343,516	385,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,648	△3,961
為替換算調整勘定	25,501	21,122
その他の包括利益合計	35,150	17,161
四半期包括利益	378,666	402,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,760	335,334
非支配株主に係る四半期包括利益	28,906	67,012

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース事業	フード サービス事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,836,608	1,671,190	206,152	6,713,951	-	6,713,951
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	4,836,608	1,671,190	206,152	6,713,951	-	6,713,951
セグメント利益又はセグメント損失(△)	719,957	98,486	△110,659	707,783	△299,283	408,500

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リユース事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において5,220千円であります。

「フードサービス事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において60,853千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース事業	フード サービス事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,093,291	1,732,047	221,726	7,047,064	-	7,047,064
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	5,093,291	1,732,047	221,726	7,047,064	-	7,047,064
セグメント利益又はセグメント損失(△)	792,987	93,424	△122,376	764,035	△296,990	467,045

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。